



会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 普及啓発部会	
開催日時	平成30年7月12日(木) 開会；18時00分・閉会；18時45分	
開催場所	行田市産業文化会館 管理棟 2A会議室	
出席者(委員)氏名	松井毅、浅見和成、矢那瀬淳一、清水由香理、藤村幸子、山岸朱美、寺山有紀、寒河江涼太、新井竜、近藤慶一、加藤里美、川島治、溝上俊亮	
欠席者(委員)氏名	荒木 宏、山岸克也、前田千穂	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	広報誌「行田人」第2号誌について	
会議資料	(資料名・概要等)	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名押印	
30年8月24日	松井毅  浅見和成 	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
松井委員	<p>【開会】</p> <p>「行田人」第 1 号のご協力ありがとうございました。反響あったか。私は家族から「こんな活動があるのか」と言われた。市民に、皆で行田を盛り上げていると知ってもらうだけでも大切。それが安心して暮らしていけるという事に繋がる。今後ともよろしくお願いします。第 2 号誌、10 月中旬。10 月の最初のワーキンググループの後になるか。</p>
事務局（春日）	<p>10 月中旬。ワーキンググループの 2 日前に発行。9 月には発注。</p>
川島会長	<p>9 月発注の日程。ここで了解を得てから。市の予定だと思うが、皆で話し合い、ワーキンググループの後でも良いのではないか。</p>
松井委員	<p>発刊がいつか、教えて欲しい。</p>
事務局（春日）	<p>自治会の回覧日が月ごとに決まっている。10 月は 10 日に配布。1 ヶ月前、9 月 10 日発注。</p>
松井委員	<p>10 月 10 日発刊。発注は 9 月 10 日頃。それまでに内容を確定する必要。ワーキンググループの前になる。ずれる事はないか。ワーキンググループで最終確認。</p>
事務局（春日）	<p>ずれるとしたら 1 ヶ月ずれる。</p>
川島会長	<p>8 月はないので 9 月。ここは今日で終わり。1, 2 ヶ月ずらして皆さんの意見をまとめて聞く。</p>
松井委員	<p>ずらす事は可能か。メールでやりとり出来るが。</p>

事務局（春日）	<p>掛け合ってみる。年間の予定を自治会に出してあるが、ずらしてはいけない訳ではないと思う。</p>
松井委員	<p>1ヵ月印刷掛かるのか。印刷に出すのが9月10日。</p>
事務局（春日）	<p>大体発注掛けるのが9月10日。それは原案で、印刷会社に出すとデザインから全部作り、第1校正、第2校正が上がってくる。</p>
松井委員	<p>そこは要相談。内容としては前回ある程度決めた。</p>
浅見委員	<p>前回5月の時の内容。まず研修会の報告、市民への情報提供やお知らせ。今回春日さん作成の原案の中に、トピックス少ないのが1つの課題、話し合いたい。サザエさん一家を題材に分かりやすく見てもらえるよう専門職の仕事、役割を流れで載せる。介護支援でケアマネジャー、在宅往診医の紹介が載っている。後はトピックスを季節の内容にするか、皆さんで載せたいものがあるか。</p>
寒河江委員	<p>今度嚙下歯科、STがあるので載せたら良いのでは。専門職で医療介護連携してこういう研修会した。</p>
松井委員	<p>情報提供として。どのような内容があるか。研修会報告で載せる。研修ページもう少し大きく取れると良い。写真も入れて。</p>
事務局（春日）	<p>中を変えれば大丈夫。</p>
松井委員	<p>次は冬。インフルエンザの情報。季節ごとに注意や予防でも良い。後、市民が市に問い合わせ、疑問に思っている事に答える。質問コーナー、こんな質問があり、こういう対応、アドバイスをした等。内容はたくさん考えられる、啓蒙としては。市民の質問に専門職が答える。スペースが少ない。</p>

事務局（春日）	今回の原案は前回の部会で出たものを落とし込んだ。
浅見委員	まず表紙のサザエさん一家の紹介。見て何か分かるか。これを基に、下の段に行き専門職がいるという紹介 1 ページ。こうした方が良い等あるか。
山岸委員	ここの専門職の色分けはどういう形か。訪問看護、訪問介護は黄色というのは。
事務局（春日）	介護系がオレンジ。介護と医療が混じるような感じ。
松井委員	波平やフネの体の状態は。これに対して各専門職がアプローチしていく。皆さんの立場として、波平、フネ家族に何が出来るかパッと浮かぶか。何か付け足す等あるか。
加藤委員	ケアマネジャーの仕事は多く載っている。折角ここに皆さんの職種が載っているので一文でも良いので、例えば訪問介護は何をする等。ケアマネジャーだけではなくこの人達は何をしてもらえるかがあると良い。字が小さくなってしまう。ここは何がくるのか。
松井委員	下に書き込むような感じで。そこはどうするかという感じ。
川島会長	加藤委員の意見同様、次ページの医師とケアマネジャーだけになっている。そこにサザエさん一家に各職種が果たす役割を。全職種やるか分からないが折角これだけ出ている。何回シリーズというものか。
松井委員	何回かに分けて全職種、大まかに。
川島会長	忘れてしまう。折角ここでやっているのだから 2 枚使い仕事内

松井委員	<p>容、サザエさん載せると 2 つか 3 つ。ケアマネ一覧載せるところなので、医師はサザエさんにはこれ。1 つの職種について 1 つずつ。多くても 2 回位に分けるようにしないと間延びする感じ。</p> <p>最初のイメージでは 4 つずつ位。ケアマネジャーの連絡先は要らないのではないかと。代表の連絡先はあるのか。医師会でも、相談窓口ある。歯科もある。他の職種もどうやってアプローチ出来るかの相談窓口だけがあれば良い。そういうのを知りたいはず。</p>
寒河江委員	それは地域包括ですか。後ろの。
事務局（春日）	<p>介護相談の最初は包括。居宅介護支援事業所のまとめた相談窓口はない。地域包括支援センターに聞けば紹介はする。紹介の仕方は本人の家から一番近い所など。そういう形の紹介が多い。</p>
松井委員	<p>これだと後ろに書いてあり市民が見てもどこか分かり辛い。市役所や地域包括支援センター。分かりやすいように何か。会長の言うように全職種、見開きで簡単に紹介するか。</p>
寒河江委員	<p>折角細かい設定があるので、この人に対してどのようにケアプランを立てるか具体例があり、訪問リハ 1 回やる、訪問介護入れるというのをケアプランとして見せ、他にこういうサービスがあると。詳細にやっているのだからこういう人ならこうすれば良いと、具体的にイメージが湧くようにやっても良い。これをしたならこれはいらないというのがある。</p>
松井委員	<p>武蔵野市の取り組み、見開きでそれぞれの職種はこんな事をしていると。これだと 1 年である程度いける。サザエさんに対しても簡単なコメント書ける。見開きパターンか、3 回位に分けて細かく載せ、シリーズ化にするか。市民へは同時に入れておけば安心</p>

	出来る。何かイメージあるか。回覧ですよ。取っておければ。貼っておいてもらうと良い。
寺山委員	利用者に説明用にとっておきたい。説明しやすい。絵がある。
事務局（春日）	今年度は全世帯には作成できない。「行田人」1号は関係機関に配布済み。利用者に見せるならそれを使ってもらう。次回は多めに配れるようにしたい。
松井委員	興味がある人にはコピーして渡す事になる。
寒河江委員	それを見てしまうとこれは必要ないと思ってしまう。そこで紹介を見開きで使い、この人にはこういうチョイスをするという例を見せた方が良く思う。市民はどういうサービスがあるのか全く分からないと思う。違いが何か分かるのであれば、そういう感じで書く。業種、業種で何を担っているか分かると良い。
浅見委員	こうなった時の手順みたいでも良い。何処に相談してどういう手順になる等。
松井委員	大体流れとしてはどうか。後ろ最後は必ず載せる。研修内容あり、後、前回出たものあるか。
浅見委員	前回の話のものはそれで全部。7月に摂食嚥下研修会の流れ。サザエさん一家を題材にした専門職、関係職種を載せると良いのではという話。全部載せた方が良いのではないか。今回、摂食嚥下の研修会の報告として上げ、もし無理なら次回でも良い。今回はこれで載せようと思う。
事務局（春日）	第2号ではないが、他の部会がやっている事もいつか載せた方

松井委員	<p>が良いのではないかという意見がある。</p> <p>入退院調整等色々資料出来ている。素晴らしいものが出来ているので、我々専門職だけではなくお知らせとしては良いと思う。</p>
川島会長	<p>色分けは医療系、介護系で分けるのは連携なので不適切。各職種の色を決める必要があるか分からないが、2つ3つに分けるのは良くない。次のページで各職種にするなら各職種の色を決める。包括の地図がいつも出てくる。毎回毎回このスペース勿体ない。嚥下の研修がもう少し大きく載せられる。この地図を載せる必要があるのか。</p>
松井委員	<p>担当地区が書いてあるので自分の住まい分かると思う。</p>
寒河江委員	<p>この絵を見てもどこか分からない。</p>
松井委員	<p>地図は取る。少し下にいけば研修関係広く取れる。VR研修は載せるか。</p>
川島会長	<p>市民向けなので、摂食嚥下で行った内容を市民に継続し、嚥下困難時はこうだという方が。ただやった事をPRしても「そんな事を行ったのか」というだけ。摂食嚥下を何の為に、嚥下困っている人はこういうアプローチがあると、市民向けのレクチャー、説明を少し載せて。困った時は歯科医師やこういう所へとした方がPR、市民への啓蒙を一緒にした方が良い。VR研修は認知症の説明する時に認知症はこういう事だと。行った研修と市民への啓蒙のセットの方が紙の作りとしては分かりやすいと思う。</p>
松井委員	<p>他に意見あるか。大まかな流れとしてやっていく事を決めていければ。内容に関してはどうか。一人ひとり皆さん居るので皆さ</p>

	んにコメントしてもらおうか。
川島会長	多職種連携の意見交換会で一度内容出た。市が持っている。
事務局（春日）	これが合同意見交換会で出たもの。他の職種もある。
川島会長	各職種にチェックしてもらい、本当にサザエさんに合っているか見てもらい決めれば。
松井委員	出来たらチェックして欲しい。また意見あればメールでやりとりする。来月はない。9月がラスト。内容が大体出来ればメールで1回流す。8月分ワーキンググループなくても皆に見てもらい、意見聞き、刷りに入れればと思う。
事務局（春日）	来月はVR研修。9月の作業部会。回覧日が変わるか確認してメールする。メールで第2原案送る、8月中旬に。
松井委員	ここは摂食嚥下が今月あるので書ける。
事務局（春日）	市より報告。昨年の部会の中で、市に置いてある介護保険のパフレットを医療機関や薬局に置いた方が良いのではないかという意見あった。医療関係機関に配れる位のパンフレットを用意した。発送に入りたい。そのまま部会の意見の中で発送して良いか。発送させてもらう。
寒河江委員	何部位か。各機関には100部か200部か。
事務局（春日）	全部で3500部。薬局、病院、クリニック、歯科医療機関に分ける。一機関には100～200部配れると思う。介護パンフレット置くと、質問等出ると思うのでよろしくお願いします。

寒河江委員	説明出来るようにという事か。わかった。
松井委員	次回は9月開催、よろしくお願ひします。お疲れ様でした。
全員	お疲れ様でした。 【閉会】

